大正九年十二月十四日 第三種郵便物認可　昭和十一年五月十六日　新京日日新聞　(土曜日)　第四千七百七十六號　(一)

新京日日新聞
夕刊
五月十五日

本紙定價 一部五錢 一ヶ月壹圓 郵税一ヶ月拾五錢
廣告料金 普通一行壹圓五拾錢 特別一行貳圓五拾錢
發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社
電話(編輯局專用(3)三三二五 營業局專用(3)三三〇〇)
發行人 十河榮忠
編輯人 松本勇
印刷人 水越内之介

高遣冀專使以下 重大使命帶び出發

國務總理、外相の親書携へ

滿支提携の楔に

滿洲國政府が滿支提携の楔として冀東防共自治政府に特派する答禮專使外交部秘書科長高崇祿氏以下參贊李垣、隨員梁越坪、張建侯、岡野誠治、淵部元臓の五氏は十五日午前九時新京驛發列車にて山海關經由一路通州へ向つた、驛頭には大橋外交部次長以下筒井宣化司長、國務總理秘書官呂宣文氏をはじめ外交部員多數見送り特使一行晴の門出を祝福した、一行は十六日北平着、十八日通州に入り直ちに殷政務長官を冀東政府に訪問張國務總理並に張外交部大臣の滿洲冀東親善の書翰を手交して重大使命を果し滿洲冀東親善協和の實を結び日滿支融和に更に一歩を進め滿洲國外交史に光輝ある一頁を飾ることゝなつた(寫眞は新京驛出發の高專使等)

相互協定に 滿腔の賛意表明

殷長官への外交部大臣書翰

冀東政府殷政務長官に對する張外交部大臣の書翰は專使高崇祿氏に依つて携行されたが右書翰は滿洲、冀東修好關係樹立を强調するは勿論であるが、更に冀東政府の要望する相互協定の締結に對して滿腔の賛意を表明するものである

冀東政府の標榜するところは北支黨弊、共禍の毒災を防止し王道を宣布して民衆全般の福祉を增進し進んで日滿支三國の提携により東洋和平の基礎を確立せんとするものであり、その期するところに於て滿洲國々是と相一致するので唇齒輔車の關係にある滿洲國は冀東政府が提唱する

一、東亞の平和確立、民族繁榮の大計は日滿支三國の協力を必要とし之が實行には先づ滿洲冀東が魁くべきである

一、防共の必要に應じ民生の利益のため相互協定を締結する

の主旨に對し快諾を與へる書翰で滿支國交調整に重大意義を持つものである

本日着京の 河村派遣部隊長に 侍從武官を御差遣

派遣部隊長河村中將の一行二十名は十五日「あじあ」で着京の豫定であるが、皇帝陛下には驛頭に金侍從武官を派し聖旨を傳達あらせらる趣きである

松岡總裁來京

滿鐵總裁松岡洋右氏、理事石本憲治氏、秘書役藤井十四三氏一行は十五日午前八時五十分着列車で大連から來京した

植田軍司令官と 懇談

松岡滿鐵總裁は十五日午前九時五十分關東軍司令部を訪問植田軍司令官と會見、石炭液化問題を中心に重要懇談を遂げ、同十一時半辭去した

于軍政相歸京

特命檢閲使于軍政部大臣一行三十名は十五日午後五時三十分着「あじあ」で奉天より歸京の豫定である

教育令審議 全省學務科長會議

文教部に於ては來る十八、九の兩日全省の學務科長を招集し目下同部に於て起案研究中の教育令制定に關する第一回打合會議を開催することとなつた

地籍整理局 分、支局設置

國務院は十五日院令を以て地籍整理局分、支局を左の通り設置するが尙官制に依り分局長には省長、支局長には縣長が任命される筈である

尙分支局の名稱 位置及び管轄區域は左の通りである

(一) 奉天分局(奉天市)奉天省▲遼陽支局(遼陽縣城)遼陽縣▲開原支局(開原縣城)開原縣(二)吉林分局(吉林市)吉林市▲永吉支局(吉林市)永吉縣、(三)錦州分局(錦縣々城)錦州省▲錦支局(錦縣々城)錦縣(四)間島分局(延吉縣城)間島省▲延吉支局(延吉縣城)延吉縣

新任新聞班長 秦大佐着任

【東京國通】新任陸軍省新聞班長秦彦三郎大佐はソ聯政府から日本の隊附將校として派遣されたズワノフ大尉(三島野砲聯隊附)マチヤエフ中尉(平壤飛行隊附)の兩武官並に語學研究の爲のシロートキン少佐 ポポノフ大尉、ニノグラドフ大尉、レンチック大尉の四靑年將校を案內方々同行し十三日午後七時四十五分東京驛着歸朝したが同大佐は車中左の如く語つた

去月二十二日大田大使は大使館武官の更迭を機會にモスクワ日本大使館に於てボロシロフ、ブデンヌイ、イゴロフ各元帥を筆頭にソヴイエト軍部の首腦者を招待し歡談を交へた、日本大使館の宴會にソヴイエト軍部首腦者が出席した事は始めてだつたので色々歡談が遂げられた、其の席上大田大使は曾つてリトヴーノフ外相は「荒木陸相がモスクワに來て日ソ關係の打開に就き話合をしてはどうか」と言つた事例を想起しながら今回はボロシロフ元帥に日本を訪問し兩國々交關係の改善に寄與される樣勸めたところボロシロフ元帥は日本政府が招待し又ソヴイエト政府が許すならばブデンヌイ元帥等を伴つて日本に行きたい等と全く打解けて話合つた

滿ソ東部國境地帶で國境確定及び紛爭處理委員會等に就き兩國が誠意を以て交渉を進め漸次ボロシロフ元帥の日本訪問といふ樣な事態が實現する事を望んで居る

最近重工業の發達も驚く程で飛行機等の製作についても性能はそう優秀であるとは言へめが製作能力は世界一と言へやう

極東地方の軍需工業は最近又非常に發達したが現在の極東軍備を極東地方で自給自足するまでには至つて居ない樣だ

隴海線機關車請負

滿鐵と支那政府調印なる

【大連國通】豫て滿鐵と南京政府鐵道部との間に交渉中の隴海鐵道機關車新造請負契約は滿鐵と南京政府鐵道部購料委員會との間に左の如く去る九日交渉成立、調印を了した旨入電があつた、新造機關車は隴海線貨物列車用でカポツト型七輛及び附屬材料で契約價格は日本の鐵道技術を支那に紹介する意味に於て利益を無視し約七十萬圓で引渡し期限は契約の日より一年間以內となつてゐるなほ鐵道部より近く監督官が來連、滿鐵工作課と設計につき打合せを行ひ直ちに沙河口鐵道工場で建造に着手する筈であるが、南京政府が滿鐵に車輛を註文したのはこれがはじめてで特にベルギーの借款鐵道たる隴海鐵道機關車を滿鐵に註文したことは日支接近を圖る南京政府の空氣を物語るものとして注目されてゐる

板垣參謀長 今夜ひかりで歸京

參謀長會議出席の爲赴京中であつた板垣關東軍參謀長は十五日午後九時着"ひかり"で歸京の豫定である

銚子飛行場開設

【銚子國通】帝都防衛の空港として銚子市郊外に新設された銚子陸軍飛行場開場式は十四日午後一時から擧行され絕好の飛行日和に來賓航空本部高橋中佐以下其他二百餘名を迎へ十五機編隊飛行、橫轉逆轉、木葉落し等の高等飛行あり、觀衆五萬、民間機も參加し盛大を極めた

露店商人を一纏め 永春路滿式市場

當分の間バラック建こし 來月中旬には竣工

交通上の障害を除き衞生的見地より永春路一帶に散在する生鮮食料品を販賣する露店商人、行商人等を一纏めにして永春路簡易市場設置の計畫は既に建築に着工し愈よ六月中旬竣工の豫定である、同市場に收容される營業者の主要なるものは鮮魚、野菜、干物、牛肉、豚肉、鷄肉、鷄卵、菓子等百數十名の多きに上る見込で同建築は當分の間バラック建とし市區の完了を待つて將來本格的市場に改築の筈である、近日中に豐樂路市場と相前後して開場の運びに至り市民の憂所を賑すことであらう

滿洲事件行賞 六千四百四十九萬圓

【東京國通】滿洲事件行賞資金は既に大部分手續きを終了近く交附されるがその總額は追加分を併せて六千四百四十九萬六千八十五圓にしてその中五千七百廿三萬二千五百五十二圓二十五錢は公債を以て交附し殘り七百二十六萬三千五百三十二圓七十五錢は現金を以て交附する豫定で各省內譯は左の如くである(單位圓)

省	金額
陸軍省	[illegible]
海軍省	[illegible]
外務省	[illegible]
朝鮮總督府	[illegible]
關東局	[illegible]
其他	[illegible]
合計	六四・四九六・〇八五

國軍の討匪好績

東邊道東部國境各地に蟠居せる共產匪は勇猛果敢なる日滿軍の屢次の討伐により潰滅的打擊を受け今や全く氣息奄々の狀態に立至つたが去月廿六日興京附近の討伐に於て邵本良團長の指揮する國軍步兵〇團の精銳は匪首楊靖宇の率ゐる匪團を全滅し匪首楊に重傷を負はせその敗死說さへ傳へられてゐる折柄十四日又復左の如き捷報が前後して軍政部に達し、部員一同は重なる大勝に凱歌を奏してゐる

一、第〇〇〇隊は十一日午後三時依蘭縣+龍山北方西胡景に於て趙尙志匪二百と遭遇激戰三時間の後敵匪百を斃し多數を傷け小銃九十六、彈藥二千五百、馬十四、銃劍二、手榴彈八其他多數を鹵獲し記錄的勝利を收めた

二、梅津中尉の指揮する步兵〇團〇連は十三日午前九時頃敦化南方地區高姜孟子南方六百高地に於て共匪約二百と遭遇、激戰六時間の後之を擊退した、この戰鬪に於て敵の損害は死者十六名負傷十數名、鹵獲品多數我方兵一名負傷

横山副所長歸任

本社と事務打合せのため赴連中であつた新京地方事務所副所長横山重起氏は十五日午前八時五十分着列車で歸任した

米海軍異動

【ワシントン十三日發國通】米海軍當局今秋十月行はれる定期異動に當りアジア艦隊司令長官とハワイ眞珠灣造船所長官の入替へ更迭を行ふに決定した

アジア艦隊司令長官 海軍中將 オーリン・マーフイン
補第十一海軍區司令長官兼眞珠灣造船所長官

第十一海軍區司令長官兼眞珠灣造船所長官 海軍中將 ハリー・ヤーネル
補アジア艦隊司令長官

人事往來

▲松岡滿鐵總裁 十五日午前八時五十分大連より
▲藤井十四三氏(總裁秘書)同
▲石本憲治氏(滿鐵理事)同
▲田邊州廳警察部長 同
▲滿洲國遣冀修交專使高崇祿氏外四名 同九時奉天へ
▲藏式毅氏(參議府議長)同
▲板垣關東軍參謀長 同午後九時歸京豫定
▲鴨脚光朝氏(錦縣農事試驗場)十五日午前錦縣へ
▲二宮謙氏(滿鐵)同大連へ
▲有本榮次郎氏(三井物產)同內地へ
▲宮本重房氏(貿易商)同間島へ
▲石坂淸重氏(同)同
▲大久保寬氏(同)同
▲山越富三郎氏(會社員)同市內へ
▲藤井鐵造氏(會社員)同奉天へ
▲森喜代八氏(同)同
▲西一雄氏(正金銀行員)同大連へ
▲中村信氏(電業會社)同市內へ
▲荒木東一郎氏(電々囑託)同來京國都ホテル
▲佐々木虎雄氏(輸入商)同
▲奧平廣敏氏(ハルビン交易所)同
▲大野淸氏(滿鐵)同
▲古庄勝吉氏(同)同
▲末政幸作氏(自轉車貿易商)同
▲藍山嚴氏(同)同
▲堀井卯之助氏(千代田生命)同
▲牧口賢照氏(同)同
▲田信行氏(同)同
▲雲林讀一郎氏(ビューロー員)同
▲松居久一氏(商業)同來京名古屋ホテル
▲伊藤仁吉氏(福島高商教授)同
▲飯田元治氏(會社員)同大連へ
▲佐藤正俊氏(ハルビン市公署總務處長)同ハルビンへ
▲岡本健一氏(同)同
▲東善彌氏(商業)同
▲富家昌三氏(東洋穀產專務)同四平街へ
▲井口弘爾氏(滿洲國官吏)同天津へ
▲三浦弘一氏(會社員)同大連へ
▲杉浦眞作氏(石材商)同市內へ
▲西川總一氏(吉林鐵路局)同來京ヤマトホテル
▲中島宗一氏(滿鐵)同
▲志村悅郎氏(同)同
▲矢橋春藏氏(滿洲發明協會)同
▲菅勇氏(會社員)同
▲森山德次郎氏(島津製作所)同
▲實吉吉郎氏(滿鐵)同
▲田中武彥氏(會社員)同
▲上田由次氏(上田化學工業研究所)同ハルビンへ
▲根本源三郎氏(會社員)同市內へ
▲島田久太郎氏(同)同
▲白石春雄氏(會社員)同
▲田中知平氏(泰東洋行支配人)同ハルビンへ
▲河村龍興氏(彫刻家)同大連へ
▲東條正平氏(朝鮮鐵道會社)同市內へ

團體

▲福岡縣門司中學校生百三十六名 十五日午前七時奉天より、同午後二時四十分大連へ
▲熊本高等女學校生三十二名 同午前七時奉天より、同九時十分ハルビンへ
▲長崎縣西海中學生五十六名 同午前七時奉天より、同九時十分ハルビンへ
▲海城小學校生三十七名 同午前七時奉天より來京
▲台灣嘉義農林生三十五名 同公主嶺より
▲福岡縣女子專門學校生八十名、同午前七時三十五分奉天より、同九時十分ハルビンへ
▲帝國鐵道協會第二班百六十四名 同午前八時吉林へ、同午後六時二十四分來京、同十一時三十分ハルビンへ
▲朝鮮金州驛主催滿洲視察團十五名 同午前九時十分ハルビンへ
▲大連南山麓小學生二百十一名 同午前九時三十分湯崗子へ
▲滿電社員二十名 同午前十時四十分公主嶺へ
▲中央日語學校生百名 同午後三時二十七分吉林より
▲鞍山富士小學校高等科生百五十名 同午後四時ハルビンより
▲竹本喜三郎商店招待團二十名、同來京同午後八時大連へ
▲日本旅行協會主催北支鮮滿視察團三十五名 同午後四時ハルビンより
▲臺灣旅行俱樂部臺北支部團二十名 同午後七時四十五分來京
▲福岡縣小倉師範生三十九名 同午後七時四十分ハルビンより
▲平壤師範生七十九名 同午後十時奉天へ
▲滿洲農業生五十二名 同奉天へ
▲滿洲醫科大學生五十五名 同午前七時來京、同午後十一時ハルビンへ

新京神社春季大祭休刊

十五日は新京神社春季大祭につき祝意を表し恒例の通り十六日附朝刊を休刊致しますから御諒承願ひます

乳房ある悲み (禁上演上映)

中西伊之助 作
泉武久 畫

(八十五)

笞の下に泣く(五)

『くわしいお話は追ひ〱に判ります、あなたはどうぞ、私と一緒に東京へかへつて下さい』

さ、その婦人はいつた。

『……』

トムは何ういふ事情やら全く見當がつかなかつた、しかし、團長も暇を出すといふし、事情は追ひ〱わかるといふから、苦勞を共にして來た友達と別れて、その婦人に東京へつれてかへられた。

婦人の家は、上大崎にあつて、彼女は女主人で、他には女中が一人ゐるばかりであつたが、かなり裕福に暮してゐた。

トムは、不思議なその婦人の家で家庭教師をつけられた。彼は小學教育さへ受けてゐなかつた。

十六になつて、小學教育を授けられても、彼は案外興味をもつて勉强した。そして一年ほどの中にメキメキと上達して、小學校の課程をやつてしまつた。

『まあ、あなたは偉い、さすがに兄さん達が學者ほどあつて……』

さ、その婦人はいつた。トムはそこで自分に學者の兄のあることを知つた。

がそれ以上、婦人は彼の身の上について語らなかつた。彼もきかうとしなかつた。

二年後に、彼はやつと私立中學に入學することができた。が、その頃から、彼を子のやうに愛してくれた婦人は病床についた。

『あなたが、立派に大學を卒業するのを見て死にたい……』

さ、その婦人はいつた。が彼女の病氣は日に日に重くなつて行つた。

婦人の病氣はたうとう重態になつた。

トムが學校から婦人のゐる病院へ廻つて行くと、婦人の緣者のものは、みんな枕許に集まつてゐた。が、婦人はその人達をしりぞけて、トムを一人枕許に坐らせた。

『私はもう神さまのお召しによつて、天國へかへります、あなたはそれはそれは不幸な人です、私の死んだ後、あなたを心から愛してお世話をする人がないのです、私はそれを思ふと、とても死にきれないのです。――でも、きつと神さまはあなたを憐しんで下さるに違ひありません、……』

婦人は細々とさういつて、苦しい息をついた。

この人は自分の母だ――トムはさう思はないではゐられなかつた。

――たつた一言でも、それを打ち明けてくれたならば……。

トムは心の中でさう思つた。

婦人は、暫くして、又いつた。

『あなたの學資は、私が遺言しておきます。どうぞ立派な人になつて下さい……』

そして彼女は口を噤んだ。

トムは、ただ默つてそれをきいてゐるより外はなかつた。

婦人は、長い間、沈默してゐた。

が、婦人は思ひきつたやうに口を開いた。

『あの、田村先生をすぐお呼びして下さい……自動車でお迎へに行つて……』

田村先生とは、婦人の屬してゐる敎會の牧師であつた。

トムは起つて、牧師の宅へ電話をかけた。

間もなく、老牧師はやつて來た。

牧師が病室へはいると、婦人は靜かに牧師へいつた。

『先生、私は愈々神さまのお召しを受けました。……先生私に最後の懺悔をさせて下さいまし……』

老牧師は婦人の枕頭で瞑目して默禱した。そしてじつと眼を瞑ぐと靜かに病人を祝福していつた。

『幼兒の如くなつてあなたは天なる父の御許のふるさとへおかへりなさい、おゝ父よ、この哀れなる一人の姉妹の聖なる懺悔を聞し召したまへ……』

嚴かに賑やかに新京神社春祭り
各種團体の參拜に次いで奉納催しに人の波

新京神社春季大祭の式典は十五日午前十時より若葉薫る同社神殿において關東軍司令官代理海軍部、關東局、各個所代表者

市内
各中、小學校長、在鄉軍人、國防婦人團、各地方委員、氏子總代等參列のもとに植村宮司齋主となり次の式次第によつていとも莊嚴に執行された

一、幣帛供進使參進　一、修祓　一、幣帛供進使所定の座に著く　一、齋主諸員著く　一、辦飾せる由を幣帛供進使に申す　一、齋主御扉を開き畢りて側に侯す　一、副齋主以下神饌を供す　一、齋主祝詞を奏す　一、幣帛供進使隨員御幣物を辛ヒツより出して假に案上に置く　一、齋主御幣物を奉る　一、幣帛供進使祝詞奏上　一、齋主玉串奉奠　一、參列員玉串奉奠　一、副齋主撤饌　一、齋主閉扉　一、齋主祭儀畢れる由を幣帛供進使に申す　一、各退下、それより社務所にて直會に入つたがこの祭典を中心に軍隊の十時四十分を筆頭に五分置きに新京警察署、商業學校、中學校青年學校、敷島高等女學校、錦ケ丘高等女學校、室町、西廣場、白菊、八島、櫻木、三笠各小學校、普通學校、公學校の順序に團體參拜があり何れも神官より修祓を受けて同十一時五十五分滯りなく終了したこの日朝來參詣人引きもきらず、境内では間斷なく煙火の打上げがあつて祭禮氣分をそゝるとともに午前十一時よりは例年の通り催物として角力弓道、柔劍道等の華々しい奉納試合があるかたはら社務所では雅びた活花大會が催された、皆一樣に賞品の授與があることゝて仲々の盛況で之を見んものと詰めかけた黒山のやうな群集と俄然顧客を呼んだ露店の人だかりでさしもの境内も犇めく

人波
に埋めつくされて非常な賑はひを呈した、一方市内では各戸に國旗を揭げ商店などでは業を休んでこの大祭を慶祝し街から街に晴れやいだお祭り氣分が横溢した

準優良兒以上に引伸しのお寫眞
廿二日表彰式を行ふ

第七回乳幼兒審查會に於て決定した最優良兒六名、優良兒十名、准優良兒二十五名の表彰式は二十二日午後一時から露月町滿鐵家事講習所にて擧行高山社會主事の開會の辭かあつて武田事務所長からそれぞれ表彰狀に記念として引伸しの大阪寫眞を添へて授與審査委員長田中貫氏の審查報告があり一同記念寫眞を撮影して閉會することゝなつてゐる

忠魂碑側に
四十四尺のマスト

第三十一回海軍記念日の新京の催事については新京報公會海友會が主催となり着々準備を進めてゐるが海友會では西公園内海軍忠魂碑の側に高さ四十四尺鐵製の〃マスト〃を建設中のところこの程完成を見たので二十七日の記念日には先端に海軍旗をヤードにはZ旗を揭揚することゝなつたが今後艦隊其他海軍關係者の參拜がある都度このマストに海軍旗を揭揚するものである

社司係次席 千葉八十四氏が四平街地事社會主事に榮轉欠員になつてゐた新京地事社會係次席には本年内地採用の同志社大學出身吉岡康男氏が決定近く着任することゝなつた、なほ地方係土地には京大出身室井博氏、公費には上海同文書院出身前田八束氏が着任する

說明 十四日軍人會館で行はれた藤井延好、川四五郎兩氏の電業社葬

滿鐵の制服で
荒す

十三日午後滿鐵消費組合白菊町分所で組合傳票を示して買物に來た男を係員が不審に思ひ新京署に通知署員が同行取調べると左の如き犯行を重ねてゐたことが判明した、本人は原籍鹿兒島縣鹿兒島市冷水町廿三番地元牡丹江建設事務所滿鐵傭員岩本常彥(二三)で本年一月二十三日牡丹江杉山下宿屋に百十二圓の宿料不拂ひのまゝハルビンに來り甘栗八郎氏から十二圓を詐欺着服、續いて奉天驛前櫻屋旅館に止宿しては二十餘圓宿料を踏倒し、三月六日大連で五圓の宿料踏倒し、三月二十九日には大石橋滿鐵獨身宿舍で消費組合傳票を竊んでこれで奉天で時計外六點時價六十餘圓を購入これを大連に入質、その他奉天、大連、ハルビンを股に滿鐵制服を着用して竊盜詐欺宿料踏倒など惡の極をつくしてゐた

逸見勇彥氏
二十日來京

往年滿洲各地に活躍勇名をはせた逸見勇彥氏は現在大連に閑居中であるが二十日來京新京忠靈塔に詣で詠歌を奉唱英靈を慰めると

赤門出の學士さん
アル中の結果は!
警察へ施療患者扱ひ願出

新潟縣三島郡寺泊町三千九百六十五番地生れ松島量十(四五)—假名—は昨年一月來滿文教部臨時雇の形式で教員講習所囑託として講師を勤めてゐたが二月二十八日解職、昨年六月富國徵兵保險新京支部の勸誘員に雇はれ、これも間もなくやめ、昨年暮から

門に
立つやうになり蓬萊町一丁目十番地富士屋タクシーから二三回惠まれたのを幸ひに緣もゆかりもない同タクシー運轉手控室を泊り家に決め込み市内各學校長宅を始め知名士宅を訪れては小使錢をせびり飲酒してゐたが十四日午後新京署を訪れて氣管枝カタルの施療患者取扱を願出た、このルンペン實は大正五年三月岡山第六高等學校第一部を卒へて大正八年東京帝國大學文學部倫理科卒業以來同九年某縣立中學校、同十三年某縣師範學校、同十五年某縣女子師範學校兼第二高等女學校のいづれも教諭を奉職し昭和六年には朝鮮へ渡つて京城法學專門學校助教授を勤めたが都合により辭任同十年招かれて文教部に奉職した堂々たる經歷を有する赤門出の

學士
さんであつたが文教部を辭めて以來容易に正業につけずアルコール中毒が昂じ恥を忍んで門に立つことになつたものである

新京軍あす
大連實業と對戰
雪恥なるか興味津々

新京野球倶樂部は新進氣鋭の内地選手を迎へて内容一新滿洲球界の王座をめざして猛練習をつゞけてゐるが十六日午後四時十分から强豪大連實業を迎へて西公園球場で一戰を交へることになつた、新京倶樂部はさきに大連に遠征し實業軍と對戰九A對四で涙を呑んでゐる、この戰こそ新京側にとつては負けてはたらない雪辱戰である

入場料六十錢、なほ選手は十六日午前八時五十分着列車で到着する

實業メンバー

投手 岩瀨、稻田、金子、野上　捕手 野田 三代澤、山本　一壘 多田羅　二壘 井上 松下　三壘 三代澤　遊擊 井筒　外野手 佐々木 味川、宮澤

明日の試合
大連實業對新京倶樂部
開始四時十分西公園球場(入場料六十錢)
後援 新京日日新聞社

大同公園ボートと釣魚經營入札

國都建設局所管大同公園碧波塘に於ける短艇及釣魚の本年度經營は一括して入札に附することになつたが希望者は別に定むる入札心得知照の上申込まれたいと

一、種目 碧波塘内短艇及釣魚自五月二十日至十月末日但し別に料金其他經營條件を定む

二、入札方法 期間内競爭入札額の最高を採る但し當局豫算額に達せざる場合は落札決定を保留することあるべし

三、申込及期間 申込者は當局所定の用紙に依り入札額の一割以上相當保證金を添へ左記期間内に當局庶務科長宛申込むべし、申込は保證金受領證を以て受理の證とす
期間自五月十四日至五月十七日
保證金は落札者決定と同時に返還す落札者の保證金は其の儘落札額の一部に充當す

但し落札者にして其の權利を放棄せる場合は之を返還せず

四、開札日時 康德三年五月十八日午前十時

五、開札場所 當局庶務科

六、其他 短艇は二十三隻、放魚約八萬匹あり短艇賃貸料金及釣魚料金は左記の通りとす
尙詳細は當局計畫科公園股(電(2)四〇一四番)に照會すべし

街の日記

ミス・ハコネ改築 大和通ミス・ハコネでは階上階下に亘り改築を施行その完成を見たので十四日開店、同夜その披露を行つた

奇篤な一青年 ダイヤ街一青年と記した手紙が十三日午前新京署に屆けられ開封してみると、さる一日殉職を遂げた營口署勤務故小野寺巡査の遺族に送つて下さいとの意味の手紙に同封して金十圓の小爲替券が入れてあつた、同署では直ちに送附した

體育ボール 新京滿鐵各箇所體育ボール大會第三日の成績は左の如くである
▲白菊小學校一對二地方事務所▲敷島高女二對零保線區

映畫國策座談會 關東軍新聞班と在京映畫エキスパートとの映畫國策に關する座談會は十四日午後三時より軍人會館に於て行はれた

中山ダンス研究所開設 元モンテカルロに在つた中山義夫氏はすでに當局の許可を得たので東四馬路永長路一八號ノ二にダンス教授所を開設することゝなり十七日より開業の豫定であるが十四日右挨拶のため來社した

國通園遊會 滿洲國通信社では來る十七日午後二時から同社後庭で恒例の園遊會を催すので各方面に招待狀を發したが社員の丹精になる種々の催しの外美人連を集め模擬店數軒を出すなど趣向が凝らされてゐる樣子である

臺灣物產展示會盛況 台灣台北州主催台灣物產展示會は十四日午前九時から記念公會堂樓上第一第二集會室で催されてゐるが、展示品は台灣名產サンゴ細工、膨湖島產文石細工、大甲產、台灣パナマ、蕃產品ビーフン、筍罐詰其他台灣特有の各種食料品等で試賣もやつてゐるが珍らしいのと廉價のため朝から押すな〱の盛況を見せてゐる、期間は十六日まで〻開館時間は毎日午前九時から午後五時までゞある

あす(十六日)
▲大連實業團對新京野球、午後四時十分、西公園球場
▲台北州物產展示會本日限り 公會堂
▲陶賴昭韓鐵大會出發、午後十時
▲情報處主催淨月潭行、正午西公園前出發
▲領警署庭球コート開き、午後一時
▲自轉車檢查、八島通派出所管内
▲吉林マラソン豫選大會、午後一時、吉林驛前より
▲五九郎劇第三日、午後五時開場、公會堂

◇…今晚の主なる演藝放送…◇
▲六・三〇新京放送局吉林演奏所開設記念吉林の夕—吉林演奏所より中繼—

軍犬共進會
申込締切延期

滿洲軍用犬協會主催第四回共進會の出陳申込締切期日は五月十五日となつてゐるが各地からの申込の便宜を計り五月廿日頃まで申込みを受付けることゝなつた

あす軍犬委員會

滿洲軍用犬協會主催軍用犬共進會は五月三十一日西公園内運動場にて擧行されることゝなり新京支部では各幹事委員準備に大童の活躍をつづけてゐるが寄附募集其の他共進會事務に關し十六日午後六時から記念公會堂に委員會を催し最後の打ち合せを行ふことゝなつた

木炭ガスで
一名死亡

吉野町五丁目十番地日東公司新京支店武政勝好方苦力奉天省生れ唐永成(二一)、同李思喜(三四)の二人は昨夜十一時ごろ寢室の火鉢でお茶を沸して飲みそのまゝ枕を並べて寢たが密閉された寢室に木炭ガスが充滿し唐は死亡、李は半死半生になつてゐるのを朝になつて家人が發見、李は善生堂醫院に擔ぎ込み一命はとり戻した

特別市の防空獻金
豫定額斷然突破
各方面から續々大口申込

特別市公署扱ひ防空獻金の募集狀況はその後も依然頗る良好で、殊に滿人商人側では二部不振者あるにも拘らず、事國防に關しては莫大な獻金をなし當局を感激せしめてゐるまづ個人獻金者では大馬路泰發合の李與國氏の二千六百二十二圓を筆頭に、國務總理大臣の二千五百圓、南大街玉茗魁、陳錫三氏の二千四百七圓、各部局滿洲國高官連の二千圓等々。その件數三十六件に達し一方團體獻金では滿洲國官吏の在京職員總務廳扱の分で第一、第二回分計二萬三千六百二十二圓一錢を筆頭に電業公司職員の一千八百六十八圓二十六錢、中央銀行の一千八百二十二圓廿七錢其の他大使館、交通會社、協和會等の大口獻金があり、會社、銀行では滿人側益發銀行の一千一百十七圓、功成玉、益通の兩銀行日人側の新京特別市料理店組合の七百圓、松本組の申込その他で市公署扱の獻金豫定額九萬五千圓を突破する事五六萬と豫想されるに至つた

一萬三千餘圓
在京官吏から申込み

滿洲國在京官署職員の獻金は第二回分の獻金として金六千一百貳十五圓十九錢の申込あり、在京職員の獻金は第一回第二回分を以て總額二萬三千六百二十二圓一錢となつた

居留民會募金

特別市の獻金募集は昨年九月十日に於て全般に亘り募集し今日迄其の處理に當つて居たが右の内前期間中に募集出來なかつた分(大經路區内の市場方面)を居留民會區長に於て五月から募集することになつた

特別市公署扱大口獻金者(五〇〇圓以上單位圓)

一、個人獻金者

獻金額	氏名
二、六二二	李興國
二、五〇〇	張國務總理
二、四〇七	陳錫三
二、〇〇〇	張外交部大臣
〃	孫財政部大臣
〃	李交通部大臣
〃	阮文教部大臣
〃	蒙政部大臣
〃	丁實業部大臣
〃	于軍政部大臣
〃	馮司法部大臣
〃	呂民政部大臣
〃	長岡前廳長
〃	張侍從武官長
〃	熙宮内府大臣
〃	袁尙書府大臣
〃	臧參議府議長
〃	羅監察院長
一、六七六	王吉辰
一、五九〇	范品儒
一、二八九	賈鳳儀
一、一七七	劉振聲
一、一一七	孫秀三
九〇二	何芳亭
〃	周成
八六〇	馮錫三
八五九	趙象乾
七三〇	王傑德
〃	鐘霖
〃	傅信古
〃	李林
〃	趙廷畢
六一〇	杜輯五
六〇一	左麟書
五五八	李松岩
〃	魏子喬
五一五	趙龜雲
五〇〇	趙益宸
〃	許恩芳

二、團體法人(單位圓以下切捨)

獻金額	氏名
二三、六二二	滿洲國政府部員
一、八二二	中央銀行員
一、八六八	電業公司員
一、一一七	益發銀行
七三三	益通銀行
七七三	功成玉銀行
七〇〇	特別市料理店組合
六〇〇	松本組

客船衝突

【ハルビン國通】去る八日ハルビンを出發下流に向つた客船平安丸は十日午後一時頃三姓碼頭附近に於て十五メートルの强風を受け運轉自由きかず同船が曳いてゐたライター慶安丸は折柄右側を航行中の永安丸に轟然たる大音響と共に激突し乘客約四百名は將棋倒しとなつたが警乘員、船員の活動に依つて事無きを得た尙この椿事に依る貨物の損害左の如し

慶安丸は百三噸積の高粱、粟、米等は大部分浸水し損害約七千八百圓、船體破損は二千三百圓程度の見込で永安丸も船首左舷を少しばかり破損したが乘客及貨物の損傷取調中である

滿鐵社員婦人
龍首山へ

新京滿鐵社員聯合會婦人部員約三百名は十七日午前七時發列車で鐵嶺まで旅行龍首山で一日の淸遊を試みその日歸京の豫定である

アレンビー元帥

【ロンドン十四日發國通】英國陸軍の耆宿サー・エドモンド・アレンビー元帥は十四日拂曉ケンシントンの私邸に於て逝去した、享年七十五同元帥は歐洲大戰の勇將として我皇室より旭日桐花章を贈られてゐる

天氣と氣溫
明日の天氣 西の風雲移晴
日の出 前四時十三分
日の入 後六時五十八分
月の出 後一時 八分
月の入 前一時二十五分
けふの氣溫 最高 廿一度五 最低 七度六

あすの番組

十六日(土曜日)(M・T・O・Y 新京放送局)

※―朝―※

六・〇〇 建國體操
六・二〇 ラヂオ體操(東京)
六・四〇 中等滿洲語講座(大連) 講師 秩父周太郎
七・一〇 對米國際放送(東京) 訪日米國出征從軍老兵會代表講演及音樂 國へアナウンス(日本より) 挨拶 海軍大將 竹下勇 挨拶 老兵會代表 ジエームス・イー・ヴアンザンド 吹奏樂 海軍々樂隊 國民の意氣 日本帝國海軍々樂隊編曲
八・三〇 經濟市況(東京)
引續き 氣象通報・朝の音樂(大連) 指揮 內藤清五
九・〇〇 早晨演奏
九・二〇 料理獻立(大連)
九・四〇 經濟市況(大連)
一〇・〇〇 家庭講座(奉天)
一〇・二五 家庭メモ 子供の躾方について 高橋廣藏
一〇・三五 經濟市況(大連)
一〇・四〇 經濟市況(東京)
一〇・五九 時報(東京)
一一・四〇 ニュース(東京引續き新京)

※―晝―※

〇・〇一 經濟市況(大連引續き新京)
〇・二〇 晝の演藝(レコード)
〇・四〇 建國體操
一・〇〇 白天演藝(奉天) 梅花大鼓 紅樓夢 八角鼓 唱 急風驟雨 琴環 絃子 張福來 四胡 唐得祿
一・二〇 ニュース(滿語)
一・三〇 演藝(滿語)
一・五〇 下午演奏
二・〇〇 經濟市況(大連)
引續き 日用品値段(滿語)
二・三〇 夏場所大相撲「三日目」(東京より)=兩國
二・五〇 經濟市況(東京)
三・〇〇 ニュース(東京)
三・三〇 經濟市況(大連)

◎備考 國々技館より中繼=左の時間には中斷す

五・〇〇 子供の時間(奉天) 童話劇 花嫁狐 アカシヤ童踊樂園 指揮 龍井潮浩 タヌキ 龍井潮浩 キツネ 中島日出子 小僧 北島富士子 同 生然高子
五・二〇 コドモの新聞(大連)外
五・二五 氣象通報・番組豫告

※―夜―※

六・〇〇 ニュース(東京)
六・二〇 今晩の番組・官廳公示
六・二五 政府公報(滿語)

・子供と家庭の夕・

六・三〇 和洋合奏(東京) 樂しいハイキング・外二曲 若葉和洋合奏團 指揮 大越與四郎
六・五〇 物語(東京) 杜十春 芥山龍之介・作 山野一郎
七・二〇 木琴獨奏(東京) やさしき雲雀 ビショップ作曲・外二曲 朝吹英一 ピアノ伴奏 朝吹文子
七・三〇 舞臺中繼=新京記念公會堂より= 喜劇 自力更生 曾我廼家五九郎一座 五九郎脚色
八・三〇 時報・ニュース(東京)
引續き 八・四五 ニュース・經濟市況 氣象通報・番組豫告(滿語)
九・〇〇 講演(吉林) 訪日回鑾詔書在一年中政之効果及其將來 吉林省長 李銘書
九・三〇 滿洲演藝
一〇・〇〇 北滿の時間(哈爾濱)

ひとの褌で角力? 近頃中繼流行り

明晩は公會堂の「五九郎劇」

【後七・三〇】

十四日より記念公會堂に蓋を開けた曾我廼家五九郎劇は好評裡に明十六日夜をもつて打ちあげるが、新京放送局では同夜七時三十分より喜劇「自力更生」一幕二場を公會堂より舞臺中繼することになつた吉林の濕習會以來、藤波勢好會濕習會、すわらじ劇團、等々このところ放送局は專ら人の褌で角力をとることにのみ汲々たる有樣であるが經驗を重ねることによつて中繼技術も段々向上するであらうことが期待される

寫眞……右上から曾我廼家五九郎、花香みさを、曾我廼家十次郎、菊田惠美子さん

喜劇 "自力更生" 五九郎脚色

場景 佐山彥平の家 戸村平三の家

配役
佐山彥兵衛 十次郎
隣家の者林造 笑太郎
その女房おいし 菊川葉子
使ひの男重夫 壽五郎
平三の妻美喜子 菊田惠美子
相場師戸村平三 富士雄
源吉の妻お登代 花香みさを
職工金田源吉 美笑
戸村の女中お作 二條房子
株屋の店員新井 五郎藏
彥平の妻おひろ 五九郎

○

(梗概)姉の美喜子は相場師戸村のところへ嫁ぎ、孔雀の羽根のやうに着飾つて出るにも入るにも贅澤に、人の羨やむ榮耀三昧の日を送つてゐるがそれとは反對に、妹のお登代は鐵工場の一職工金田源吉を良人として長屋住ひ、僅少な勞銀にやりくり世帶を張り通してゐるのである。これほど境涯の違つたのも珍らしく思へば女は亭主次第不運はあなた任せこの姉妹に兩親がある。父は彥兵衛とてお登代附き、母はおひろとて美喜子附き。お廣は大の戸村崇拜で、彥兵衛と喧嘩別れまでして、美喜子の側で好きなことを云つて暮し、彥兵衛初めお登代や源吉を貧乏人と輕蔑し何處へ行つても身分の相違を吹聽するところが彥兵衛はお登代可愛さばかりでなく、質實な人だけに戸村のやうな派手な投機屋を憎み蔑むこと甚だしく、浮べる昨日大名の今日乞食、浮雲にも似た相場師風情の財産が何のたよりに、何の力になるものかと大口あいて嘲笑ひ、それよりは一職工とは云へ眞面目に刻苦して儲けて來る勞銀の方が、よしその額は小さくても、どれ程確實で、且どれ程偉いか知れぬ、固くて強く、眞直でペテンのないのが本當の男だと、無上に源吉を褒めちぎる。

仙人掌

あたし新京はまだ日が淺いの何處から來ましたか、東京からと云ふとお客さんに喜ばれるやうだけどあたし嘘をつくことが嫌ひなの……とダイヤ街バー・ロータリイの明眸ヨウ子クンはお說教めいたことをお仰言ひます、ですが今かりにかういふことを言はれたとしたら如何やうなものでしやう、あなたを好きだと言へばあなたは喜ぶでせうが、あたし嘘をつくことが嫌ひなの、マサカそこまで正直であるとはボクも思はんですがネ……▼あんた此の間帝都キネマで遇つた時知らん顔してたわネ、連れがあるやうに思つたから遠慮してたんだョ、連れがあつてもなくても知つたひとに出逢つたら挨拶ぐらゐするものョ、ハイ申譯御座ゐません、その罰に一杯、てなことで肩の一つもポンと叩かれるとつい嬉しくなつてメートルをあげやうといふ、これはいなり亭百合子クンのサービス▼ミュジックでは十四日から三日間、第五回名曲レコード演奏會を開催してゐます、壁上のむつかしい額をしたベートーベン君なぞと睨めつこをしながらお茶を喫むとも美味しいといふびと達には嬉しい催しでございます

映画 "東への道" —フオツクス—

D・W・グリフイスの名作、かつての「東への道」の感激を此處で比較にとりあげやうとは思はないが、この新版製作に對する企劃の意圖が容易に得られる興行的成功のみを狙つたものであるとするならば、それは間違ひである、事實ぼく達のこの新版に對する興味は、「東への道」の持つ大時代風な新派悲劇を如何に處理してゐるかにあつて、寧ろこの點に關しては少からざる危惧の念すら抱かせられてゐたのであつた、然し流石にヘンリー・キングはこの危惧から脫してゐた、少くとも單なる名作の蒸し返しに止めず、新鮮な近代的色彩を盛り込まふとする努力を見せてゐたのである、企劃に對する愚劣な追從を避けて、自分を生かしてみせたヘンリー・キングの面目はこゝで一石二鳥の成功を贏したと言ひ得やう。脚本(ハーワード・エスタブルツク、ウイリアム・ハールバツク)は、男に捨てられ子供を失つたムーアといふ純情な女の過去の秘密に注意を呼び起しつゝ、世間のうるさき人々によつてその秘密が全く明かとなつた途端に、クライマツクスである濁流に押流される氷塊上の椿事に移り、構成の骨子としては適確なものを備へてゐるが、この骨子を色づけるものとしてスリムサムマービル、ラツセル・シムプソン等が必要以上に登場介在するのは劇の迫力を散漫にするばかりでなくうるさい感を與へるものであつた、そしてムーアを捨てた男エドワード・トレヴアーに對する說明不足も大きな缺陷を印してゐるものであらう、但し一面からしたら介在物を意識的に追ふことによつてヘンリー・キングが「大悲劇調」を脫しやうとしたらしい氣配が窺へるのであるが、それは正當な手法とは言へないであらう、むしろ前半の美しい田園の雰圍氣こそこの映畫に清新な色彩を與へた最もなるものであり、ロチエル・ハドソンとヘンリー・フオンダの二人が叢原で裸馬を追ふ邊りの美しさにヘンリー・キングの明朗な快調の一面が味はれるのである、ロチエル・ハドソンの新鮮な好演技もよく、ヘンリー・フオンダの生固いところも生きてゐる、中途半端だがヘンリー・キングの努力を買ふべき作品。豐樂劇場上映中(N生)